

評価・認定基準の試行方法（案）

1. 試行の目的

現在検討中の評価項目の確認方法・適否の基準等について、現実に運用した場合に、どのような課題があるかを洗い出し、必要な修正を行う。

2. 試行対象

- ・ 大手事業者 1社
- ・ 中小事業者 2社

3. 試行方法

試行は、下記事項に留意しながら、事務局において実施する。

■適正な評価方法の確保

- ・ 各評価項目の確認方法・適否の基準が、評価者や被評価者（事業者）の主観によらない客観的評価を可能とするものになっているか
- ・ 書類審査により確認が可能な事項と、訪問審査による確認が必要と考えられる事項の整理

■評価作業の円滑な実施・申請者の負担

- ・ 評価者にとって、評価に要する時間や手順が妥当なものか
- ・ 被評価者（事業者）にとって、申請書類作成等に要する負担が過度なものとならないか